

都道府県内のへき地医療拠点病院に限る。) に対する医師の延べ派遣日数 (診療日数を医師数で乗じた日数をいう。) が106人日以上であること、かつ、当該へき地医療拠点病院からへき地診療所に対する医師の延べ派遣日数 (当該病院から医師の派遣を受けて行われた当該へき地医療拠点病院から当該へき地診療所に対する医師の延べ派遣日数に限る。) が106人日以上であること、及び当該へき地医療拠点病院のへき地における巡回診療の延べ診療日数 (当該病院から医師の派遣を受けて行われた当該へき地医療拠点病院の当該へき地における巡回診療の延べ診療日数に限る。) が106人日以上であること。この場合において、当該病院から当該へき地医療拠点病院に派遣される医師の診療科と、当該へき地医療拠点病院から当該へき地診療所へ派遣される医師及び当該へき地における巡回診療を行う医師の診療科は同一であることが望ましい。へき地診療所の場合、次の基準にすること。

(略)

「障害者職場復帰支援助成金」制度における医師の意見書様式について

(地Ⅲ15)

平成27年4月17日

日本医師会常任理事 松本 純一

平成27年4月10日より、厚生労働省において「障害者職場支援助成金」制度が施行されることに伴い、本助成金を利用する事業主が受給資格認定申請書類として添付する所定の医師の意見書様式が定められ、同省職業安定局雇用開発部障害者雇用対策課長より、周知・協力方依頼がありました。

本制度は、事故や難病の発症等による中途障害等により、長期の休職を余儀なくされた労働者に対して、職場復帰のために必要な職場適応の措置を実施した事業主に対して助成金を給付することにより、中途障害者等の雇用継続の促進を目的とするものであります。

本助成金の要件や手続き等の詳細については、最寄りの労働局またはハローワークまでお問い合わせください。

※本制度における所定の医師の意見書様式、および制度概要がご入り用の先生方は、お手数ですが広島県医師会地域医療課 (TEL: 082-232-7211) までご連絡をお願いいたします。

医療時事ニュース (4月17日～4月24日) ※HMA-Netでも閲覧できます

- 医師確保へ地域医療PR 尾道市の病院事業管理者片岡氏に聞く 包括ケア・島しょ部研修…プログラムの工夫も 4・17 中国
- 可部の夜間センター利用増 安佐市民病院の負担軽く 患者1日平均10.2人 4・17 中国
- 人間ドック「舟入」へ 広島市民病院7月末で中止 4・17 中国
- ご用心発信中 春から紫外線に注意 広島県医師会 高路修 4・17 中国夕刊
- 診療所閉院 募る不安 へき地医療 支援急務 開業医高齢化 庄原市西城町・小島原地区 4・18 中国
- 反核の医師・詩人 御庄博実 (本名 丸屋 博) さん 200人惜別 4・20 朝日・中国
- そこが聞きたい 医療事故調査制度 遺族と対立から対話へ 日本医師会会長 横倉義武氏 4・22 毎日
- 専門医が診る 前立腺がん 早期発見と治療で根治 広島市民病院泌尿器科 雑賀隆史主任部長 4・22 中国
- 「FMちゅーピー健康ばんざい」 すやま眼科クリニック 須山収作院長 4・22 中国夕刊
- ご用心発信中 がん検診を受けましょう 広島県医師会 佐々木達 4・24 中国夕刊